

ECPELLA 管理における Impella 位置感知用ポートからの血液ガス採血による mixing zone の推定と冠血流酸素化の評価

■ 研究の対象となる方

2018 年 9 月から 2021 年 2 月までに ECPELLA (ECMO+Impella) をよる治療を受けられた方

■ 目的・方法

私たちの血液循環は、通常すべて心臓から灌流される血液ですが、心臓の動きが弱くなったり、止まってしまった場合に、機械のサポートが必要なことがあります。このときに使用される機械の 1 つに体外式膜型肺 ECMO があります。近年、これに加えて、ECMO 導入時の左室の負担を軽減する Impella という補助循環カテーテルを使用する“ECPELLA”という治療法でよい成績が得られるという報告が複数上がっており、当院でも 2018 年よりこの方法を取り入れています。

しかし、ECPELLA の欠点として、血液が ECMO と Impella 両方から心臓に送られるため、血液の流れが変わっているため、通常の採血では心臓に栄養を与える血管（冠動脈）に流れる血液に、十分な酸素が含まれているか確認を行うことが困難でした。そこで当院では、Impella のポートから採血した血液で酸素の程度を評価しています。この方法が有効であれば、不整脈や心筋梗塞などの合併症防止に繋がる可能性があります。

今回の研究では、通常の採血で得られた結果と Impella ポートからの血液の検査結果を比較し、それらの比較対象と他の項目で違いがなかったかの調査を行い、今後の治療に貢献することを目的としています。

■ 実施期間

2021 年 4 月 2 日から 2021 年 4 月 30 日まで

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、疾患名、血液ガスデータ、Impella と ECMO の設定、実測値など診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 臨床工学部門 岩崎麻里絵（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	--

以上